

平成25年度第2回加茂地域審議会

日 時 平成25年8月20日(火) 午前9時55分～11時00分

場 所 津山市 加茂支所201会議室

出席委員

大塚邦久会長、菅田貞男副会長、赤澤俊彦、上高光昭、岡田一江、岡田 勉、尾島玲子、志水 昇、志水比佐代、智和 正、町田英夫、松本美幸

欠席委員 なし

事務局

本 庁：植月地域振興部長、皆木地域振興部次長、藤井総務部危機管理室長、
甲本財政部財政課主任

加茂支所：原田加茂支所長、安達市民生活課長、金尾産業建設課長、西山市民生活課主幹

傍聴人 なし

会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 地域振興部長あいさつ
- 4 協議事項
 - (1) 新市建設計画の変更について
 - (2) 新市建設計画の進捗状況について
 - (3) 地域振興基金の充当について
 - (4) 防災行政無線の整備計画について
 - (5) その他
- 5 閉会

会議録

1 開会

事務局 只今から平成25年度第2回加茂地域審議会を開催させていただきます。本日は、全委員のご出席をいただいております。開会に当たりまして、大塚会長よりご挨拶をお願いいたします。

2 会長あいさつ

会長 皆さん、おはようございます。今日は、第2回地域審議会でございます。例年では、大体年末くらいに開催していましたが、本日の議題となっております「新市建設計画の変更」、これが9月定例議会で上程される予定ということで、その前に地域の皆さんに説明を受けて

もらい、ご理解をいただきたいという趣旨で、この時期に第2回となる審議会を開催させていただきたいということでございます。

ご意見をいただきながら、スムーズに議事進行をして参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3 地域振興部長あいさつ

部長 本日は、第2回目の加茂地域審議会でございます。例年より早い時期に開催していただくお願いをしましたところ、委員の皆様全員のご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

津山市は平成17年2月に合併して、はや8年半が過ぎようとしています。この間、新市建設計画や、その後に作成しました第4次総合計画に基づきまして、新しい津山市の建設に努めてきたところです。

本日は、新市建設計画の変更及び進捗状況、地域振興基金の用途等につきましてご協議をいただき、ご意見を伺えればと思っています。今後とも審議会を中心に、加茂地域の将来につきましてしっかりご議論いただき、地域と行政の協働により、安全で安心なまちづくりの推進を図っていききたいと考えています。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

4 協議事項

会長 早速ですが、協議事項に入らせていただきます。(1)「新市建設計画の変更について」と(2)「新市建設計画の進捗状況について」は、関連がございますので、それぞれ事務局のほうから説明をいただいて、その後、ご質疑をいただきたいと思います。

(1) 新市建設計画の変更について

事務局 「新生津山キラめきプラン津山市新市建設計画の変更について」の資料を参考に、新市建設計画の変更について説明。

(要旨)平成24年6月「東日本大震災に伴う合併市町村に係る地方債の特例に関する法律」の一部を改正する法律の施行により、被災市町村以外の合併特例債の発行期限を5年間延長されたため、新市建設計画の計画期間を平成26年度から平成31年度までに変更する。また、人口及び世帯推計並びに財政計画の見直しを行い、平成25年9月定例議会に上程する予定である。

(2) 新市建設計画の進捗状況について

事務局 「加茂地域新市建設計画 完了・実施中状況一覧表」を参考に、加茂地域の進捗状況について説明。

(市道整備事業)

実施中：知和青柳線改良事業(2工区)

完了：東西橋線改良事業ほか3事業

(下水道整備事業)

完了：農業集落排水事業(新加茂)ほか3事業

(林道整備事業)

実施中：森林基幹道因美線開設事業

(林業振興事業)

完了：林業・木材産業構造改革事業ほか1事業

(観光振興事業)

完了：黒木キャンプ場整備事業

(教育関係事業)

実施中：市共通事業として学校給食共同調理場新築工事

完了：公民館新築工事

(水道事業)

完了：加茂簡易水道統合事業ほか1事業

(消防施設整備事業)

市共通事業として計画されているもの

防火水槽設置事業、小型動力ポンプ付積載車の更新、消防ポンプ自動車の更新

(防災行政無線整備事業)

市共通事業として計画されているもの

防災行政無線(移動局)更新、防災行政無線(固定局)更新及び戸別受信機更新

(その他事業)

完了：情報化推進事業(ケーブルテレビ網の整備)

(新市建設計画以外の加茂地域で実施された主な事業)

加茂町文化センター前駐車場用地取得、加茂町インフォメーションハウス等改修工事、加茂町斎場施設改修工事、上原グラウンド整備事業、消火栓ボックス等更新補助

事務局 (1) 新市建設計画の変更に伴う財政計画の見直しについて補足説明。

- ・合併特例債発行計画額：234億円
- ・合併特例期間終了後の地方交付税の削減：約25億円
- ・第三セクター等改革推進債の発行予定額：115億円

新市建設計画の平成31年度までの財政計画は、これと整合した内容のものである。

会長 質疑等、特別無いようですので、新市建設計画の変更と進捗状況等については、ご理解いただけたものとして、次に進みます。

(3) 地域振興基金の充当について

会長 (3) 「地域振興基金の充当について」を議題といたします。説明をお願いします。

事務局 総合グラウンドの整備(ガラスカレット部分の撤去及びカラー舗装845㎡に要する工事費)5,226,000円について説明。地域振興基金の充当について承認をお願いします。

会長 旧加茂町時代に、総合グラウンドの周辺と出入口にガラスカレットを活用して実施したものが、老朽化によって剥離し危険なため改修工事を行うもので、財源として地域振興基金を活用したいということです。9月定例議会の補正予算にあげていく方向で事務的な準備は進んでいると。そういうことでご理解をいただきたいと思います。よろしいでしょうか。

各委員 はい。

(4) 防災行政無線の整備計画について

会長 次に(4)「防災行政無線の整備計画について」を議題といたします。説明をお願いします。

事務局 現在、加茂・久米地域の防災行政無線デジタル化整備に向けての協議を行っています。この中で、条件としてまず一つは、各戸へ設置する戸別受信機が起債対象となること。もう一つは、旧津山市内が防災情報伝達等をFMラジオに対応しており、旧津山市内では、各戸受信機を自己負担としている中で、地域バランスもありますので、加茂・久米地域においては、地域振興基金の残額を本事業の戸別受信機の財源として充当していただくということがあがっています。

事業計画としては、平成26年度に全体の事業実施の設計委託を行い、翌26年度から3年間かけて整備を行うものです。平成28年度には、加茂地域全域での整備・実施という計画です。

なお、地域振興基金については、これまで、平成26年度の事業に限った財源という話もありましたが、平成27年度、或いは28年度の特定財源としても、一般財源と区別して事務処理が出来るという、内部的確認も行っています。

事業費の概算は、設計に関する経費を除いて、戸別受信機整備部分ほか加茂地域への整備に係る経費は、全体で1億8千万円程度。そのうち戸別受信機には7千5百万円程度と見込んでいます。

地域振興基金の充当について、ご理解をよろしくお願いいたします。

会長 防災行政無線については、今年、合併9年目で、来年で地域審議会も無くなるという中で、一番大きな課題でありながら先送りされてきた。津山市として基本方針をどうするかということの中で、基本的には、旧津山市内においてはFMラジオで対応していく。勝北地域については、ご承知のように自衛隊の関連事業によって整備が進んでいる。加茂・久米地域は老朽化しており、デジタル化の更新事業をしていこうということで、更新事業費に残った地域振興基金を利用してくださいということです。

事務局 先程説明しました総合グラウンドの改修工事に、地域振興基金を充当後の今年度末の基金残高は、約3千3百万円となる見込みです。この基金につきまして、防災行政無線の整備に充当させていただきたいというものです。

会長 質問ですが、基金も残りわずかになってきました。デジタル化整備に向けての設計、戸別受信機の費用が、起債対応で100%かどうか分かりませんが、それでも足りませんよね。残りは一般財源に頼らざるを得ないということですね。

事務局 そうです。

委員 デジタル化にされるということですが、入らない地域に対して何か対策をしていただけるのでしょうか。前は山の上にあつたので聞こえたんですが、今は金刀比羅山の向こう側で、丁度聞こえない地域になります。何か対策は取っていただけるのでしょうか。

事務局 デジタル無線の設置については、今あるものをそのまま交換というのではなく、業者に委託して、感度を見ながら設置するということになります。

会長 平成26年度に実施計画と言われました。入りにくい所は、他にもあろうかと思しますので十分調査していただいて、実施計画に反映するようなものにしていただきたいと思います。

委員 比較的良く入るので、入らない所があることを知らなかったのですが、加茂地域の中で入りにくい地域というのがどれくらいあるんですか。かなりあるのでしょうか。

会長 いや、それをこれから調査して、平成26年度に、実施計画に反映をするということです。今まではアナログでしたから、まだ調査してないですよ。

事務局 そうです。全て入るような中継基地局、そういうものを整備していくという計画です。

委員 アナログやデジタルと言われるんですが、デジタル化しても同じ音で聞こえるということですか。

事務局 今と変わりません。

委員 今、聞いている防災行政無線機と同じような機械で、アナログからデジタルに変わるということですか。

事務局 そうです。

委員 防災行政無線は、行政関係のことが主に放送されていると思いますが、コミュニティー関係のものも取り入れるような話をお聞きしました。今現在、行政に関わらないことを放送でお願いしたいという場合は、放送してもらえるのでしょうか。要望したい場合は、町内会長とかそういうところから通さないとダメなのかなと言われていた方がおられたので、お聞きしたいのですが。

事務局 町内会長から直接言われなくても、個人的に放送してもらいたいというのは多々あります。支所で判断して、流したほうがいいだろうというものについては流しています。詳しいことは、またお尋ねください。

会長 現行でも、防災行政無線としては、はっきり言って幅広くし過ぎなくらいしている。極論を言うならば、死亡事項を流すということ自体、相当異論もあるかと。ただし、あったほうが便利がいいことにはなっているが、本来、防災行政無線の役割ではないといったこともある。そういうことも含めて、加茂の防災行政無線は、非常に幅広く意見を聞いて運用してきているということは、間違いないでしょう。

(5) その他

事務局 支所からの報告

「主要地方道津山加茂線バイパス整備要望書の提出について」

早期の事業再開と早期完成の要望書を、6月4日に津山市及び美作県民局へ加茂地域審議会として提出しております。

会長 「主要地方道津山加茂線バイパス整備要望書」を提出するに当たって、本当は審議会に諮ってなんだろうが、この要望書を出すために集まってもらう訳にもいけないので、事後承諾でも取ればいいのかということで、あえてこの6月に審議会の名前で要望させていただきました。

委員 過疎債の本市の運用ということでお尋ねします。聞くところによりますと、過疎地域の活性化を図るために、過疎債の起債事業の範囲が見直しをされると。どういう方向で見直し等がされているのか、その情報が分かれば教えていただきたいと思います。

事務局 起債の使途の拡大については、新聞報道等でも流れているように、国のほうで検討がなされています。ただ、国・県のほうから、正式な通知はまだありません。まだ検討中ということで、市としましては、今後の情報に注視していきたいと思います。

委員 国から正式に通知があれば、それを踏まえてそれぞれの自治体で具体的なことについて検討するという状況ですか。

事務局 そうですね。改正内容によって起債の使い方等を具体的に検討するということです。

会長 過疎債は非常に有利な起債であり、旧加茂町時代は最大限活用していた。財源としては非常に活用しやすいお金です。出来るだけその地域に必要な公共的なものを優先して、民意の活用も出来たらと思います。

委員 普段の生活の中でのことなんですが、JR沿いの道で草が激しく覆い茂って大変なことになっている。生活する中で、虫がわいたりして困っている。昔は、近くで田んぼをしている人や住んでいる人が刈っていたんですが、一時、何かあったら困るので刈らないでくださいと。刈れなくて大変な状況になっていて、道を通るのも通れないような状態です。どうしたらいいんでしょうか。

会長 そういった声は、聞いたことがあります。ご承知のように、国鉄時代はたくさんの保線作業員がいましたから、線路に沿って歩いてきて確認もし、法面もチェックされていた。JRになってからは、因美線は赤字路線であり、保線作業員がほとんどいない。人員がいなから、歩いて確認するようなことはありません。確かに、昔は許可をもらわないと刈らせてくれなかったが、今はそこまで管理ができていないし、これは市として、沿線住民の人がJR路線沿いの草に困っているから管理をしっかりしてくれと、市のほうから申し出をあげてもらえますか。

事務局 道路管理の一部だと思いますので、JRに申し入れをしたいと思います。

会長 加茂の審議会でこういう意見が出たということで、市のほうでまとめていただいて、関係機関に要請をかけてください。

委員 今、川の中に木が大きく育っているでしょう。大雨の時、この木が次々と倒れてきたらどうなるんだろうと思いました。川の中の木についてはどうしたらいいのでしょうか。

事務局 おそらく、県が管理する河川だと思いますが、県も、河川の中に木が生えていると、大雨の時、流水を阻害し、上流から流れてきた木がそこへ引っかかって堰になって困るということで、3年くらい前から、堤防を直すより安いということで、川のリフレッシュ事業を始めております。旧津山市内でも、木を伐採して土砂を取ったりしています。県のほうに支所を通じて要望をしていただければと思います。

委員 河川の木は、欲しい人は切って持って帰ってもよろしいと言われるが、いいところだけ持って帰る訳にいかない。だから、欲しい人も、先のほうは持って帰っても捨てる所がないから切れない状態です。

会長 なかなかこっちのほうまで手が回ってないのが事実。現実的に、すぐに手は回らないと思いますが、災害の未然防止も考える時代にはなってきた。現状では、やはり地域のほうから市を通して要望をあげていくしかないでしょう。

委員 風力発電のその後の動向といたしますか、情報を教えていただけますか。

事務局 事業内容については、今年1月に開催した地域審議会でご説明したとおりですが、地元説明会などのスケジュールが大きく遅れており、工事着手も今年になるか来年になるか現在のところわからない状況です。この要因は、五輪原で使用予定のメーカーの風車が、三重県で今年4月に、風車の羽と中心部にある発電機がタワーから完全に欠落するという事故が発生し、この事故の原因究明を国の経済産業省やメーカー等が行っているためです。製品自体に問題があるのか、強い風によって突発的に破損したのか、原因によってはかなりスケジュールが遅れる可能性があるというように聞いております。

委員 何時になるかわからないということですね。7月に着工すると聞いていたんですが。

会長 それが今の最新の情報です。ただ、若干遅れようとも、何としても風力発電だけはしてもらわないと。遅れ馳せでもやってもらえれば、市の税金等も入ってきますし、市の収入にもつながる。市が直接的にしている事業ではないですから、強力な推進ができないとしても何とか実施してもらいたいと思います。

委員 岡山県の学力テストの結果で、岡山県がものすごく悪い。非行はワーストワンだと、新聞に度々出ており、津山市もそうじゃないかと思うんです。問題行動や学力の低下に対して、何か特別な措置とかされていますか。

事務局 教育委員会の管轄になると思いますが、岡山県の学力が低下している中で大変問題視されまして、津山市議会でも毎回のように質問が出ています。津山市としても、県とタイアップして学力向上、問題行動等が出ないように対策はしていると聞いています。

5 閉会

副会長 合併時に、均衡ある新津山市を創っていくという観点から、新市建設計画を策定いたしました。先程、その期間が5年間延長されるという話を聞きました。合併特例債の関係があるという話でございますが、今まで積み残されたものもあろうかと思えます。そうした意味から、今延長されたことは心強く感じたところでございます。

そして、前々から加茂町地域住民の切なる願いである防災行政無線の整備について、お願いをしてきました。今日、平成26年度に計画をし、3年で整備を行うという旨の説明がございました。是非ともこれを事業化していただきますよう、よろしく願いいたします。

皆さん方が益々ご活躍されますよう祈念いたしまして、本会を終了いたします。ご苦労様でした。